第7回「未来」想像・創造コンテスト 受賞者が決定



「『未来の自分に向けて!!』〜錦江町に残したいもの創りたいもの~」をテーマに、『第7回「未来」想像・創造コンテスト』の表彰式を令和4年12月20日に開催しました。寄せられた74件の想い・発想・知恵の中から、特に優秀な提案を選出し、MIRAI創生協議会城下会長から受賞者に表彰状が授与されました。また、表彰式後には当会から町へ政策提言書の提出を行いました。提案の実現に向けて取り組んでいきます。ご応募いただいた全ての皆さま、ありがとうございました。

12歳以下の部

優秀賞 新久保 陽

▶「いちさき川をきれいに!」

優秀賞 新地 結護

▶「プールをつくってほしい」

13~18歳の部

優秀賞 小脇 麻鈴

▶「近隣住民との交流会を開催」

19~39歳の部

優秀賞 笹目 槙

▶「農業『大根だけつくりにきてもいがっぺよ』」

優秀賞 丹治 大亮

▶「新規就農者について参画しやすい地域をつくる」

優秀賞 川松 早紀

▶「外部の販売に興味のある人が挑 戦することのできる場所を作る」

40~64歳の部

優秀賞 船迫 小百合

▶「全世代型支え愛事業」

南大隅高校の部

最優秀賞 馬込 真理那

▶「錦江町の活性化に向け高校生でお店を開く」

最優秀賞 雪丸 優藍

▶「南大隅高校生が作った日用品を販売する」

最優秀賞 馬込 百々花

▶「高校生による出店」







錦江町でんしろう奨学金制度についての説明会を2月に開催し、3月頃から取り扱いを開始する予定。説明会の開催日時や場所などの詳細は10ページに掲載しています。



inko Town Pickup Photonews

鹿児島相互信用金庫と連携協定

でんしろう奨学金を創設

1月13日、町外に進学する学生に向けた「錦江町でんしろう奨学金」を創設し、13日に鹿児島相互信用金庫と制度に関する連携協定を結びました。学生が卒業後に町内に戻った場合など条件次第で返済額相当分を町が補てん。締結式に臨んだ新田町長は「子どもたちが学び、将来に挑戦したいと思える環境を支えたい」と想いを述べました。

第 13 回「チーム" あ!! to HOME" 会議」 トランク・ライブラリー初披露

1月24日、認知症フレンドリーな町づくりを進める「チーム"あ!!to HOME"」会議が開催され、26名が参加。認知症当事者の声を基に町内で行えることを考えるワークショップや認知症に関する児童書などをトランクに入れ、町内の事業所に設置する「旅するミニ図書館トランク・ライブラリー」の初披露も行われました。



文化センター図書室とやまんなか図書室でも認知症に触れる機会を作るため「認知症との出会いコーナー」を設置しています。

鹿児島銀行大根占支店の肥後雅志支店長は「子どもたちからの 意見で気付くこともあった。改善していきたい」と話しました。



高齢者などに優しい店舗づくりに向けて

利用者の目線で調査を行い提言

1月18日、大根占小4年生28人とゆうゆうカフェメンバー6人が町内店舗を訪問し、認知症の方や高齢者などに優しい店づくりに向け提言を行いました。昨年12月に行った調査で気付いた良い点や工夫が必要な点を文書にまとめ店舗に提出。重い商品は下の方に置くや表示の文字を大きくなどの改善策を提言しました。

17 KINKO TOWN PUBLIC RELATIONS 2023.2 ※撮影時のみマスクを外している場合があります 広報 **Kinko** 16